

東京2020大会後のマグカル 事業の主な取組

国際文化観光局 文化課

(令和4年1月20日 文化芸術振興審議会資料)



1 これまでの取組

- 本県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す「マグネット・カルチャー（マグカル）」の取組を推進しており、東京2020大会に向けた取組のほか、コロナ禍においては、次の3つの分野に重点的に取り組んできた。

共生社会の実現

伝統芸能の普及振興

文化芸術人材の育成

2 総括表

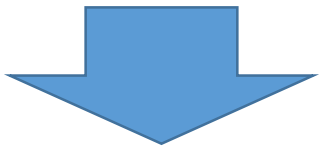
事業の柱	R 3 実施内容	今後の課題
東京2020大会 関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・NIPPONフェスティバルのオンライン配信 ・能とオペラの創作舞台のオンライン配信 ・文化プログラム216件認証(12月末時点) 	<p>① 東京2020大会のレガシーの継承</p> <p>② 新 かながわ県民文化祭(仮称)の開催</p>
重 共生社会の実現	共生共創事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア劇団、シニアダンス(運営、公演) ・障がい者の舞台公演等 	<p>② アフターコロナにおけるマグカル事業の推進</p> <p>文化芸術人材育成や発表・鑑賞機会の喪失への対応</p>
重 伝統芸能の普及振興	<ul style="list-style-type: none"> ・カナガワ リ・古典プロジェクトの実施 	
重 文化芸術人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーミングアーツ・アカデミーの運営 ・マグカルシアターの実施 ・短編演劇アワードの開催 	
民間の文化芸術団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル開放区(オンライン)の実施 ・マグカル推進事業補助金 16件交付 	<p>優れた文化事業の県内展開</p>
情報発信力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・広報サイト「マグカル・ドット・ネット」の運営、SNSによる広報 ・広報誌「イベントカレンダー」の発行 	<p>効果的な広報の継続</p>

3 課題解決に向けた取組

課題① 東京2020大会のレガシーの継承

<新規> かながわ県民文化祭（仮称）の創設（R4～）

- ◆ **目的**：県民が幅広く文化芸術に親しむ機会の提供
- ◆ **概要**：県内の多様な文化プログラムを一体的・効果的にプロモーションすることで、広く県民に周知する
- ◆ **継承するレガシー「文化プログラムの認証」（H29～）**
東京2020大会を契機に開始した、県独自の文化事業の認証制度



- ◆ **県内各地で秋に開催される認証された文化事業を「かながわ県民文化祭（仮称）」事業と位置づけ、一体的なプロモーションを行う**

3 課題解決に向けた取組

課題① 東京2020大会のレガシーの継承

<新規> かながわ県民文化祭（仮称）の創設（R4～）

◆ R4実施案

「かながわ県民文化祭（仮称）」として一体的・効果的にプロモーション

9月

10月

11月

12月

県が実施する主な文化プログラム

県美術展

共生共創事業
ダンスイベント

音楽コンクール
入賞者による
コンサート

文化賞・
スポーツ賞

日本大通りでの
ダンスイベント

県障害者
文化・芸術祭

市町村・民間団体等が実施する文化プログラム

・ 広報

県の広報誌、ポータルサイト、
SNSを活用したプレゼントキャンペーン 等

3 課題解決に向けた取組

課題② アフターコロナにおけるマグカル事業の推進

(1) マグカル推進事業補助金の見直し、継続 (R4~)

◆H30~R2 予算額：18,000千円

目的：東京2020大会に向けたレガシー創出

対象：県内で実施する新規の文化芸術事業（オールジャンル）

内容：上限額 300万円、補助率 1/3

◆R3 上限額を、100万円に改正 予算額：18,000千円

理由：コロナ禍において、より多くの事業者を支援するため

課題：上限額引き下げによる事業の小規模化、申請を取りやめる団体

◆R4~制度を見直し、「マグカル展開促進補助金」を新設

3 課題解決に向けた取組

課題② アフターコロナにおけるマグカル事業の推進

(1) マグカル推進事業補助金の見直し、継続 (R4~)

◆コロナ禍の状況：文化芸術団体の支援を求める声

収入25%以下：7割、金銭的な支援の要望：8割強（文化課調）

◆アフターコロナを見据えた支援の継続

① ニーズの高さ 申請件数 R元：30件 ⇒ R3：80件

② 「先進的」な文化事業の県内展開

「共生共創事業」の全県展開を支える団体の支援・発掘

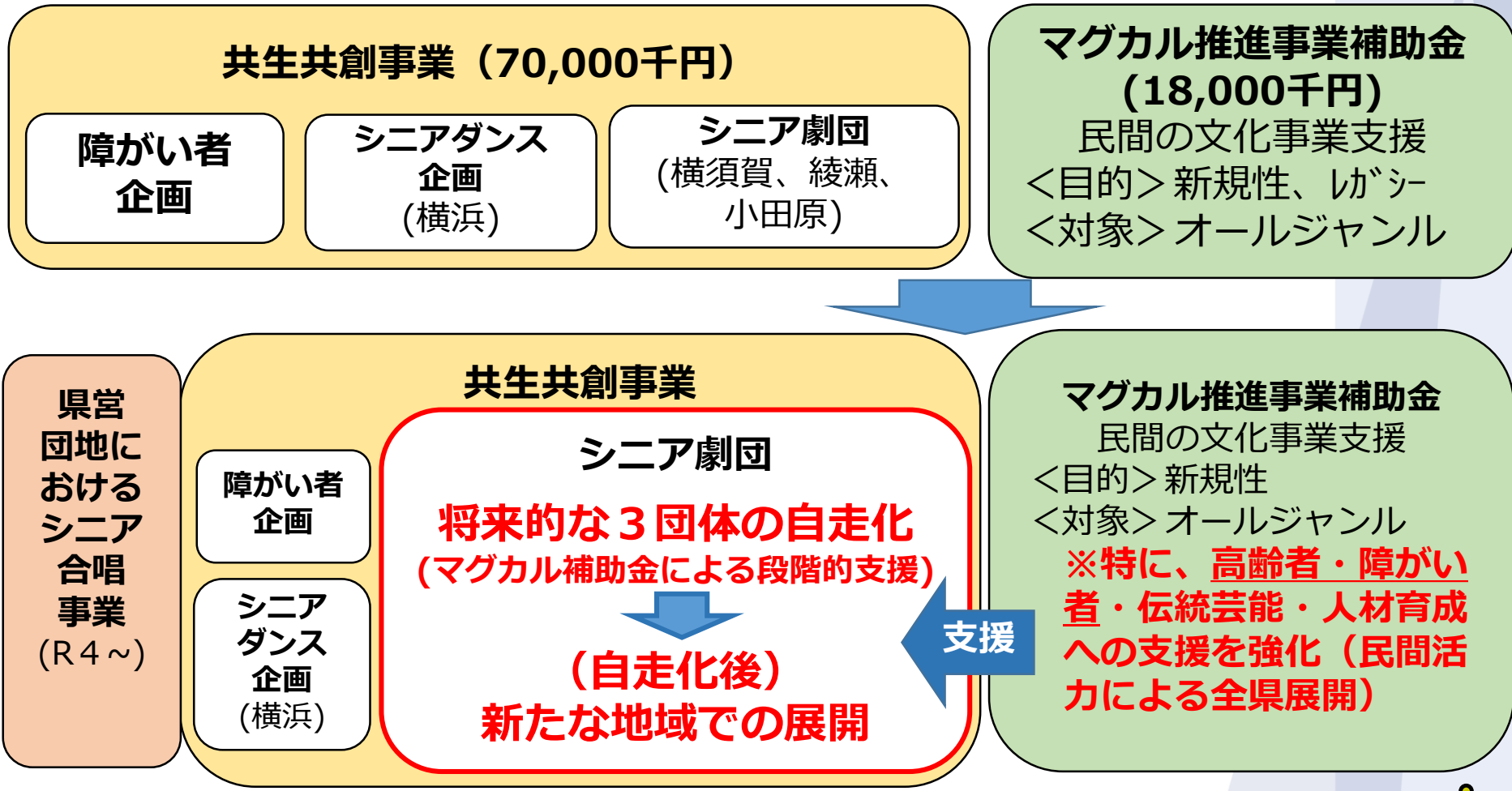
【例】・赤レンガ倉庫でのクラシックフェス (R元)

・ろう者と聴者がともに創る人形劇 (R3)

3 課題解決に向けた取組

課題② アフターコロナにおけるマグカル事業の推進

(1) マグカル推進事業補助金の見直し、継続 (R4~)



民間活動も含めた共生共創事業の全県展開

神奈川県発の新たな文化

資料編

文化プログラム認証制度（H29～）ゼロ予算事業

本体資料 P 4

<目的>

東京2020大会に向け、様々な実施主体が行う県内の文化イベント等について、統一したマークを使用して、「神奈川の文化プログラム」としてアピールすることで、一体感を持たせ機運醸成を図るとともに、県の文化芸術の魅力を発信する。

<対象> 県内で実施する以下のすべてにあてはまる事業

- (1) 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す事業・活動
- (2) 神奈川文化プログラムにふさわしい以下のいずれかの要素を付加した事業・活動

- ①日本文化の再認識と継承・発展、②日本文化の世界への発信と国際交流、③次世代育成と新たな文化芸術の創造、④あらゆる人の参加・交流と地域の活性化、⑤共生社会の実現（障がい者・高齢者参加）、⑥人生100歳時代

<これまでの取組・成果（～R2）>

認証件数

H29：47件、H30：425件、R元：497件、R2：486件

<R3年度取組>

○ 継続（12月末時点：216件）

Kanagawa Prefectural Government



マグカル推進事業補助金（H30～）R3予算額：18,000千円

本体資料P6

<当初の目的>

- 新たな生活様式のもと、将来にわたって活動を継続できる、レガシー性、発信性の高い文化事業の支援。

<これまでの取組・成果（～R3）>

	H30	R元	R2	R3
申請件数	41	30	24	80
交付件数	7	9	6	16
募集回数	2	2	1	2

マグカル推進事業補助金（H30～）R3予算額：18,000千円

本体資料P7

<補助金で実施した代表的なイベント（先進性、共生）>

（単位：千円）

申請団体	イベント名	内容	補助額	事業費総額
(株)イープラス	イープラス presents STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019	スタジオジブリからモーツァルトまで、誰もが聴いたことのある音楽をお届けする野外クラシック音楽フェスティバル。会場は、横浜赤レンガ倉庫。 (R元年度採択事業)	3,000	174,344
(公財)現代人形劇センター	百物語 神奈川公演	ろう者と健常者がともに創る人形劇の公演。ろう者のダンサーや手話ポエマーも出演する。会場は、KAAT。 (R3採択事業)	1,000	23,647

共生共創事業（H30～）R3 予算額：70,000千円

本体資料P8

<目的>

- 年齢や障がいに関わらず、全ての人が文化芸術に参加し、楽しむことができるよう、文化芸術の面から共生社会の実現を後押しする。



<これまでの取組・成果（～R2）>

- シニア劇団（横須賀・綾瀬・小田原）やシニアダンスワークショップ（オンライン）の運営・公演の実施。
- 障がい者や高齢者による優れた舞台公演の上演。（「OriHime」を活用し障がい者が自宅からリモートで出演する朗読劇、障がい者施設とのダンスやバンド音楽の協働創作、海外の遊び歌による国際文化交流企画）
- 来場者数 H30：2,532人 R元：6,947人 R2：4,267人（動画再生回数：48,201回）
- ※ R2年度公演は、無観客・動画配信で実施。

共生共創事業（H30～）R3 予算額：70,000千円

本体資料 P 8

<R3年度の取組> ※公演は全て無観客・動画配信で実施

- シニア劇団（横須賀・綾瀬・小田原）の運営（年間）、公演（年1回）
 - ・ 横須賀シニア劇団 9月末に公演動画を配信
「賢治ととしの銀河鉄道」
 - ・ 綾瀬、小田原シニア劇団も、年度末に公演動画を配信予定
 - ・ シニア劇団の概要（R3.8現在）
横須賀：39名（男11、女28）、平均年齢：68歳、最高年齢：87歳
綾瀬：21名（男3、女18）、平均年齢：69.4歳、最高年齢：82歳
小田原：17名（男5、女12）、平均年齢：70.8歳、最高年齢：82歳
- チャレンジ・オブ・ザ・シルバー（シニアダンス）
 - ・ 4～12月 オンラインワークショップ（月2回程度）
 - ・ 10月（1回）、1月～ 対面稽古
 - ・ 年度末 公演動画の配信
- 障がい者や国際文化交流をテーマにした公演企画を3本実施予定
（OriHimeを活用した公演は、今年度も実施予定）